

## 飛騨・世界生活文化センターに係る県・関係市村による検討会 議事要旨

1 日時等 令和8年1月29日（木）10:00～11:00、オンライン会議

2 出席者 高山市：平野総合政策部長、沼津総合政策課長  
飛騨市：森田企画部長、下通総合政策課長  
下呂市：澤企画課長  
白川村：古田観光振興課長  
県：渡辺観光文化スポーツ部長、澤村次長（文化担当）  
森飛騨県事務所長兼地域危機管理監、大口文化創造課長 他

### 3 議事要旨

#### （1）あいさつ（県観光文化スポーツ部長）

- ・ 飛騨センターは、平成13年の開館以来、度々議論があった。行財政改革アクションプラン（平成22年）以降、地元市村の協力のもと、運営費を削減しながら稼働してきたが、今般、施設規模に比しての利用実態、県の財政状況等を踏まえ、従来の文化施設の枠を外して、有効活用策を検討することとなった。
- ・ 検討に当たっては、利用者をはじめ関係者の意見、代替施設の状況、行政利用の可能性、サウンディング調査の状況、県の財政状況等を総合的に勘案したうえで、飛騨地域にとって、最適解を探っていきたい。
- ・ そのためには、より住民に近い関係市村の皆さんと連携し、丁寧に協議することが不可欠であると考え、この検討会を開催することとした。格別の協力をお願いする。

#### （2）検討に至った経緯について（説明：県文化創造課長）

##### ア 概要 資料1、資料2（参考2）

- ・ 昨年度の利用者数は、延べ約31万人。うち会議室等各施設の利用は約8万人、ふれあい広場の利用が約5万人。この他に、館内2箇所の人感センサーによる計測値が約18万人を占める。
- ・ 現指定管理料（R3～7）は年間約2億5千万円。次期指定管理料の約3億円は、現行どおり運営した場合を想定し、直近の実績をもとに、労務単価の伸びを考慮して、年度当初に積算した金額。

##### イ 経緯 資料2

- ・ 昨年8月から、関係者に県の方針をお伝えし、意見聴取を実施したところ、賛否両論の意見があった。当初は、県において令和7年度末での休止を検討していたが、ご意見や予約状況を考慮し、令和8年9月末まで運営することとした。
- ・ その後、高山市長からの要請や、県議会での議論等を踏まえ、サウンディング調査においてのより良い提案を期待して、更に半年の延長を検討することとした。

## ウ 利用状況 資料3

- ・ 月1回以上定期的に利用している15団体のうち、地元の文化・スポーツ関係の団体は4団体。これらの団体の平均的な1日あたりの利用者数は8～40人。また、15団体のうち11団体は高山市内。
- ・ 高山市の施設を利用する際は、登録団体として認定されれば、使用料が2分の1減免される制度があり、利用者説明会（令和7年11月25日開催）で案内済み。また、12月初めに利用者向けの相談窓口を設置。

### (3) 検討事項について（説明：県文化創造課長）資料4

- ・ 令和9年度以降の運営について、県としては、サウンディング調査の状況、財政状況、地元市村や関係者の意向、利用者の代替施設の確保状況等を踏まえて、総合的に決定する方針。
- ・ 本検討会で、地元市村、関係者の意向を聞きながら、飛騨センターに残すべき機能、地元主導による行政利用の可能性を改めて確認するとともに、代替施設の確保に向けた対応等について協議したい。
- ・ これ以外にもご懸念があれば、本検討会で併せて協議していきたい。

### (4) 意見交換

#### 【高山市】

- ・ 県が利活用策を検討することは理解するが、進め方が急である。期限を決めずに利用者の納得を得たうえで進めて欲しい。

#### 【 県 】

- ・ 県としては、利用者にしっかり丁寧に対応しつつ、運営の見直しについては、やはり、一定の期限を設けて検討することが必要であると考えている。

#### 【高山市】

- ・ 12月の「抗議及び要望書」への回答に「利用者説明会を1月下旬に開催予定」とあったが、どうなっているか。

#### 【 県 】

- ・ 12月9日に受理した「抗議及び要望書」に対しては、同月19日に「しかるべき方と協議のうえ開催する方針」と回答したが、その後、12月26日に「公開質問書」を受理した。これに対しては、「地元市村と協議のうえ適切に対応する」と回答したところ。
- ・ また、先方は文書でのやりとりを希望されていることもあり、説明会の開催が適切であるか思案している。
- ・ 県として、飛騨センターをどうするべきか総合的に判断するためには、県と一部利用者との話し合いでなく、地元市村の考えを第一に、是非、利用者、住民の声を聞いていただき、本検討会で議論させていただきたい。ご理解とご協力をお願いします。

### 【高山市】

- ・ 一部の団体と文書でやり取りしているだけで、説明会を省略して良いものなのかは、疑問に思う。今後、必要に応じて説明会を開催することも検討されたい。
- ・ 前回の説明会で一定の理解が得られたことも確かである一方、まだ反対の方がいるのも事実である。最適解を求めるためには今後どうすべきか、相談したい。

### 【高山市】

- ・ 県が設置した相談窓口への相談はあったか。

### 【 県 】

- ・ 相談窓口への相談は、これまでに1件あり、市内の代替施設をご案内し、移行にご理解いただいた。定期的に文化・スポーツ関係で利用している団体からの相談はない。

### 【飛騨市】

- ・ 飛騨市民は、利用団体の一員としての利用はあるかもしれないが、飛騨市の団体の利用は少ないものと考えている。
- ・ サウンディング調査への参加事業者が、利用者の声を理解したうえで提案されると、最適解につながるのではないか。この点、丁寧な対応を求めたい。
- ・ 行政利用として、収蔵庫に美術作品を置いている。今後の利用について相談したい。

### 【 県 】

- ・ 令和8年度末までは、収蔵庫も利用可能となる見込みである。

### 【下呂市】

- ・ 下呂市に利用している団体があれば、意見の聞き取り等の協力が可能である。このため、利用者の情報提供をお願いしたい。
- ・ 高山市や飛騨市の考えを尊重しながら、県に協力したい。

### 【白川村】

- ・ 飛騨市や下呂市と同様、白川村民が飛騨センターを利用することはまずない。
- ・ 運営費に関し、人件費が高額であるが、指定管理者の職員が多いのでは。職員の数を減らすことはできないか。また、利用頻度の高い施設に絞って運営するという案も考えられる。

### 【 県 】

- ・ 人件費については、指定管理料の中で何人雇用するかは指定管理者の判断。外注費の削減に努力してもらっている。  
来年度は、利用者に影響のないよう、更に経費削減しつつ全館稼働する予定。指定管理者との協議が整い次第、来年度後半の予約を受け付けたい。

### (5) その他（説明：県文化創造課長）

- ・ サウンディング調査の状況は、随時、共有させていただくが、情報の取り扱いにはご注意ください。
- ・ 検討事項（資料4）について、現時点での、各市村の検討状況等を照会予定。回答を取りまとめ後、第2回の検討会を開催したい。